

みずほCustomer Desk Report 2017/07/27 号(As of 2017/07/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.02	1.1644	130.44	0.9529	1.3028	0.7931
SYD-NY High	112.21	1.1740	130.60	0.9595	1.3125	0.8014
SYD-NY Low	111.07	1.1613	129.96	0.9499	1.3000	0.7877
NY 5:00 PM	111.15	1.1735	130.46	0.9507	1.3122	0.8005
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.805/8.205		△25RR	0.950	Yen Call Over	
NY DOW	21,711.01	97.58	債券市場	日本2年債	-0.1050	▲0.1bp
NASDAQ	6,422.75	10.57		日本10年債	0.0790	0.3bp
S&P	2,477.83	0.70		米国2年債	1.3551	▲3.5bp
日経平均	20,050.16	94.96		米国5年債	1.8265	▲6.4bp
TOPIX	1,620.88	3.81		米国10年債	2.2872	▲4.8bp
シカゴ日経先物	20,020.00	▲60.00	為替市況	独10年債	0.5610	▲0.5bp
ロンドンFT	7,452.32	17.50		英10年債	1.2330	▲2.5bp
DAX	12,305.11	40.80		豪10年債	2.7300	4.0bp
ハンセン指数	26,941.02	88.97		USD/CNH	6.7431	▲0.0157
上海総合合	3,247.68	3.99		ドルインデックス	93.67	▲0.38
USDJPY 3M Vol	8.66	▲0.04%	商品市況	CRB指数	179.455	1.79
USDJPY 6M Vol	8.95	0.00%		NY金	1,255.60	▲2.90
EURJPY 3M Vol	9.40	▲0.11%		WTI	48.75	0.86
EURJPY 6M Vol	9.63	▲0.13%		Dubai Spot	49.07	1.38

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月26日	10:30	豪 CPI(前期比・前年比)	2Q 0.2%/1.9%	0.4%/2.2%
	10:30	CPIトリム平均値(前期比・前年比)	2Q 0.5%/1.8%	0.5%/1.8%
	17:30	英 GDP・速報(前期比・前年比)	2Q 0.3%/1.7%	0.3%/1.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 610K	615K
7月27日	3:00	米 FOMC政策金利発表	-	1.00-1.25%

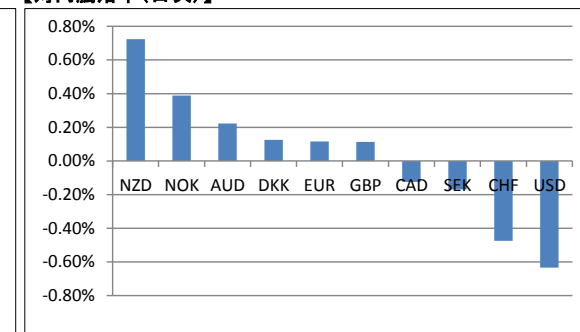
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月27日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	240K
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器・速報(前月比)	6月 3.7%/0.4%	-0.8%/0.3%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報値	6月 0.3%	0.4%
	21:30	米		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.60-111.60	1.1680-1.1780	129.60-130.90

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は下落。良好な米企業決算を受けたダウ工業株の上昇やFOMCを控えたポジション調整のドル買いに、112.21円まで上昇。しかし、その後発表されたFOMC声明文でインフレ見通しについてハト派な文言となったことで、ドル売り優勢の展開となり、111.07円まで下落し、111円台前半でクローズ。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。FOMC声明がハト派な内容と捉えられたことで、ドル/円の戻りは鈍くなりそう。ただ、9月に保有資産の縮小を開始する可能性が高まったことで、下値では買いも相応に出ることが予想され、下値も限定的か。

東京	米上院にてヘルスケア法案の審議入りが決定したこと等を背景としたドル買い優勢地合いが前日から続く中、ドル円は午前中に上値を積極的に追う格好に112円ちょうどをブレイクし、東京時間は112.02レベルでオープン。その後も日経平均が前日比大幅高で寄り付く中でドル円は112.08まで続伸。しかしながらこの水準では利益確定のドル売りや円買いの実需フローも散見される中、午後にかけてドル円は112円割れまでじり安の展開。米金利も前日の上げ幅をやや縮小する中、ドル円は方向感乏しく111円台後半での横這い推移となり、結局111.91レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	材料難かつFOMCを米国時間に控える中、ロンドン時間のドル円は111円台後半でもみ合いとなった。朝方は111.91レベルでオープン。前日から散見されたドル買い優勢地合いが東京時間中に一巡し、欧州株が方向感に欠ける中でドル円はレンジ推移。ロンドン時間中盤にかけてややドル売り優勢となる中、ロンドン時間の安値となる111.72まで下落。その後は小幅に値を戻し111.82レベルでNYへ渡った。ポンドドルはドル売り優勢の流れを受け、1.30ちょうど近辺から1.30台半ばまで上昇。朝方は1.3016レベルでオープン、ロンドン時間中盤に目立った材料が見受けられない中、ユーロスイスの上昇にユーロドルがつけ高となると、ドルが弱含みポンドドルもロンドン時間の高値となる1.3062まで上昇し、1.3050レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外時間のドル円はFOMCを控える中で111円台後半での推移となり、111.82レベルでNYオープン。朝方発表された米6月新築住宅販売件数は予想を下回ったが市場への影響は限定的となった。その後はオープン前に発表された米大手航空機の決算が好感され、同社株の急伸と共に高く寄り付いたダウが堅調な推移を維持したことから、ドル円は112円台に上昇。FOMCを控えたポジション調整から米金利が上昇したこともあり、ドル円は一時高値となる112.21まで上昇。その後発表されたFOMC政策金利は現状据え置きとなり、保有資産の圧縮については「比較的早く開始する」と強調した。しかし、「短期的にインフル指標は2%を下回る見通し」との足元のインフル指標に対するハト派な文言を受け、米金利の低下と共にドル円は急落した。海外時間の安値111.72を下抜け、この日の最安値となる111.07まで下落する展開。この水準ではドル買い意欲も強く、111円を割り込むことはなかったが、その後も111円台前半で上値の重い推移が続き、111.15レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.16台前半で方向感に欠く推移が続き、1.1643レベルでNYオープン。FOMCを控える中で1.1630付近での狭いレンジでの推移が続いたが、FOMCでのハト派な声明文を受けて米金利の低下と共にドル売りが強まり、ユーロドルは前日高値の1.1712を上抜けこの日の高値となる1.1740まで急伸し、1.1735レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・鶴田